

中学1年生

「新たな自主学習の習慣を身に付ける時期」

学習のポイント

- ◇ 家に帰ったら、すぐに学習に取り組む習慣を身につける。
- ◇ 毎日70分以上は家庭学習をする。
- ◇ 予め計画を立て、学習と部活動の両立を図る。
- ◇ 授業の復習に特に力を入れる。

家庭学習の内容（例）

【国語】

- 教科書やワークを使用し、繰り返し漢字や文法の学習を行う。

【数学】

- 正確に素早く計算ができるように、授業で扱った計算や、ワークの計算を何度も繰り返す。
- 計算問題は途中の式を書くことで、どのように考えたのかがわかるようにする。
- 間違えた場合は途中の式を見直し、どの過程で間違えたのかを明確にする。
- 復習を帰宅後にしっかり行い、その日に習った学習内容をきちんと身に付ける。

【英語】

- 英単語を、しっかり英文として覚える。
- 教科書等の英文を何度も声に出して音読する。
- 予習をして授業に臨み、帰宅後復習を行い、その日に習った学習内容をきちんと身に付ける。

【その他】

- 宿題とともに自主学習ノートを使って毎日の復習に取り組む。
- 帰宅後に、その日の授業を振り返る時間をつくる。
学習したことを確認し、確実に身に付ける。
- 重要語句や専門用語をチェックし、正確に漢字で書けるように覚える。
- 計画的に自ら進んでワークなどに取り組み、テスト前に慌てないようにする。
- 新聞をよく読み、社会の動静や身近な出来事に関心を持つ。
- 身近な自然現象に目を向け、自然の不思議さに関心を持つ。
- 朝読書をきっかけに、家庭でもいろいろな種類の本を自ら選んで読む。
- 心に残ったことや感じたことを生活記録ノートなどに文章で表す。

<家庭での支援>

- ・ 家族や地域の人との関わりを大切にし「人の役に立った、他人に喜んでもらえた」等の自己有用感を高める。
- ・ 学習する場所と時間を自分で決めさせ、計画的に学習が進められるようにアドバイスする。(自律を促す)
- ・ 将来のことを話し合いながら自分の進路について考えさせ、学習に取り組めるようにする。(自立を促す)

<情報通信機器の使用について…スマホ・タブレット・ゲーム機 等>

- ・ 家庭内で話し合い、ルールを決めて使用させる。
- ・ 各家庭で責任を持ち、フィルタリングを行って子どものSNS被害の未然防止に努める。
- ・ SNSの使用に関し、過度にならないように目を配る。

中学校2・3年生

「進路選択・進路実現の時期」

学習のポイント

- ◇ 生活リズムの中に学習時間をしっかり位置づける。
- ◇ 毎日、2年生は80分以上、3年生は90分以上家庭学習の時間を確保する。
- ◇ 進路選択、または、進路実現のための計画を立て、見通しを持って勉強する。

家庭学習の内容（例）

【各教科】

- 各教科のワークや受験用テキストを有効に活用して学習する。間違いを確かめたり、繰り返し見直したりしながら、確かな知識を身につける。
- 各教科の宿題は、要点の復習や練習を重視しているので必ずその日に終える。

【自主学習ノート】

- 復習や予習したことや苦手な教科や内容についてノートにまとめる。
- 課題、問題、振り返り、練習を大切に自主学習を進める。

【その他】

- テレビのニュース番組や新聞等から、政治や経済、社会情勢などについての情報を得ておく。
- 読書

<家庭での支援>

- ・ 子どもの考えを聞きながら、子どもと一緒に進路選択や将来のことについて考える。
- ・ 家族や地域の人との関わりを大切に「人の役に立った、他人に喜んでもらえた等」の自己有用感を高める。

<情報通信機器の使用について…スマホ・タブレット・ゲーム機 等>

- ・ 使用のルールを決め、トラブルや被害の未然防止と共に、進路実現のための時間を共有し、学習内容を充実することのできる環境づくりを目指す。

授業こそもっとも大切な学習の場です。一時間一時間の学習が大切であり、9教科すべての授業に真剣に取り組みます。

授業で学習したことをもとに、家庭学習では次のものを有効に活用して学習していきます。

- ・ 各教科のワーク・プリント
- ・ 自主学習ノート
- ・ 宿題プリント（各教科であります。）
- ・ 長期休業課題（サマーワーク、学年のまとめのテキスト）
- ・ 受験用テキスト（中2の12月より）

など

